

日向市社会福祉協議会

ハートフル
3月号
2015年

社協だより



今年度もありがとうございました
平成27年度もご期待ください！



2015 日向市福祉のつどい

日時：平成27年2月1日（日）

場所：日向市文化交流センター

＜今年度のテーマ＞

広げよう ふれ



ささえ



つながり



地域福祉の充実発展のため、広くボランティアの結集を図り、子どもから高齢者まで市民一人ひとりが福祉の心を育み、心豊かで潤いのある新しい福祉のまちづくりに寄与することを目的に開催されました。

今年度は、例年ないインフルエンザの流行や、寒波の影響による気温の低下など、お客様のご来場に関し不安な面もありましたが、当日は約3,000人の方にお越しいただきました。

恒例となった福祉バザーやボランティア団体・福祉施設等による食べ物や商品の販売、災害への備えを学ぶ場として設置していただいた防災コーナー、ゲームやくじ引きなどのふれあいコーナーなど多くの方のご支援・ご協力で大変な賑わいとなりました。

ステージコーナー



防災コーナー



ふれあいコーナー



バザーコーナー



福祉施設コーナー



グルメコーナー



学生ボランティア大活躍!!

今年の福祉のつどいでは、日向市内外の小・中・高等学校**109名**の学生がボランティアに駆け付け、お手伝いをしてくださいました。



日向市のゆるキャラ「ひょう助」も出演しました!!

当日はひょう助くんも出演し、来場者とじゃんけん大会や写真撮影などを行つていただきました。



じゃんけんポイ!

バザー用品をご提供いただきました企業・団体・地域住民の皆様ありがとうございました。また、ステージコーナーの催し物にご出演いただいた皆様ありがとうございました。

なお、福祉のつどいの益金は、ボランティア基金に積み立て、ボランティア育成、活動等に活かします。
(2015 日向市福祉のつどい実行委員会事務局)

第3回認知症徘徊模擬訓練in財光寺

1月25日(日)に財光寺地区にて認知症徘徊模擬訓練（主催：財光寺地域包括ケア会議）が開催されました。この訓練は、今回で3回目を数え、訓練範囲も年々拡大しており、比良区・山下区・往還区・松原区・切島山1区・切島山2区の6区で繰り広げられました。参加者は総勢156名でした。訓練中に実際の認知症高齢者と遭遇して声かけを行った参加者もあり、貴重な経験をしたと話されていました。

徘徊模擬訓練とは、認知症高齢者の方が徘徊して行方不明になつたと想定して、地域住民が協力して搜索・声かけを行うものです。この訓練を通して、認知症について正しい理解を深めることが目的のひとつになっています。また、地域ぐるみで認知症の方やその家族を支えることによって『認知症になっても安心して暮らせるまちづくり』を目指すことも大切な目的となっています。

同様の取り組みが日向市全域に広がっていくことを期待しています。

【参加者の声】

- まずは、気になったら声をかけることが一番大切だと感じた。
- 認知症のことを地域の人たちに理解してもらうことは大事。
- 訓練の回数を重ねることで認知症の啓発になり、住みよいまちづくりにつながる。
- 訓練を通して、地域の人たちと交流ができるよかったです。
- 認知症の方だけではなく、色々な悩みを抱えている方々にとっても住み慣れて地域で生活しやすい関係性が戻ってほしい。
- 地域を見直すきっかけにもなる訓練である。
- 財光寺だけでなく他の地域でも訓練が広まると良いなあ。



認知症サポーター キャラバン・メイト誕生!!

第5回認知症キャラバン・メイト養成研修が1月22日(木)に開催されました。

協和病院二宮院長と九州保健福祉大学小川教授の講義を受け、新たに**19名**のキャラバン・メイトが誕生しました。キャラバン・メイトとは、認知症サポーター（認知症の人や家族を温かく見守る応援者）を養成する講座の講師役です。これからはこのメンバーの関係団体・機関等を中心にサポーター養成講座を開講していきます！

「サポーター養成講座をしてほしい！」という依頼は随時受け付けておりますので、社協に問い合わせください。“認知症になっても安心して暮らせる日向市”をめざしてもっともっとサポーターを増やしていきましょう!!

認知症サポーター養成講座は私たちにおまかせください!!私たちがお伺いします!!



認知症講演会

演題「認知症の人やその家族を地域で支える仕組み」
講師 小川 敬文先生 (九州保健福祉大学教授) 楽野由里(副修)

龜崎中区福祉部
地域福祉活動 “第2弾”

演題：「認知症の人やその家族を地域で支える仕組み」

2月13日(金)、龜崎中区（福祉部）主催の認知症講演会が大王谷コミュニティセンターにて開催され、100名を超える多くの地域住民の参加がありました。人ごとではなく、自分のこととして、認知症についての理解を深め、地域で“できること”を考える機会となりました。

【参加者34歳男性の感想】

家族はもちろん、地域に住んでいる認知症の人との接し方について、「介護・世話」だけでなく、「注意してみる」「気にかけてみる」といった“ケア”ができるよう考え、行動していきたい。





人募金では、今年も民生委員児童委員の皆様の協力のもと、市内の企業・商店を訪問させていただき、たくさんの募金をいただくことができました。ご協力いただきました企業・商店をご紹介いたします。

【細島地区】

清水木材株式会社
中谷海運株式会社
八興運輸株式会社
日向フンドーキン販売株式会社
株式会社江川商店
日向市漁業協同組合
株式会社呂玉海陸資材
妙国寺
観音禅寺
有限会社富丸水産
有限会社日出丸
川長物産合資会社

【梶木・工業地区】

富士シリシア科学株式会社
株式会社大忠
株式会社大三商行
東郷メディキット株式会社
第一糖業株式会社
株式会社科学飼料研究所
南日本くみあい飼料(株)日向工場
細島港荷役振興株式会社
株式会社黒田工業
旭化成オフィスワントラスト株式会社
株式会社日向椰子園
日向トーヨー住器株式会社
有限会社小弁工務店
株式会社柏田電業社
太陽工業コンクリート株式会社
株式会社日向製鍊所
東ソード日向株式会社
株式会社コーソク
あさひ生コン株式会社
株式会社日向
株式会社藤建設
株式会社ジェイエイ葬祭
よりあいサロン
株式会社ふくじゅそう
中村消防防災株式会社日向営業所
宮崎サン・ソルト株式会社
有限会社塩見工務店

【日知屋枝郷地区】

向洋クリニック
大王谷長友歯科
大王谷スカイホーム
寿廣本店
高蔵土木有限会社
尾崎眼科
和田病院
夾竹園
ミツワ染色店
アイホーム
有限会社落合燃料
有限会社丸山乳業社
有限会社なかよし薬局
有限会社日向企画
いすゞ税理士法人
株式会社宮崎ヒューマンサービス
東洋設備工業有限会社
(株)成合建設
若杉商店
和光コンクリート工業株式会社
ヤマガタスポーツ有限会社
有限会社マルイ建材店
朴跡-ム株式会社
日向農業協同組合
有限会社えびはら商会
有限会社大不動産
安藤歯科医院

くろき胃腸科・内科

三ヶ尻整形外科
有限会社みやざき保険管理
大原歯科医院
あんしん接骨院
スーパー河野重美商店
東洋プロパン瓦斯株式会社
株式会社ヨシミ
株式会社日向中島鉄工所
株式会社電工社
小林歯科医院
有限会社アドバンス日向支社
株式会社キヨモトテックイチ
有限会社日向商運

【日知屋本郷地区】

株式会社フォワード(ヤバダ)日向
有限会社シャティサンコー
トミタカスポーツ
リコージャパン株式会社
奈須接骨医院
イナダカメラ
浜崎産業
金子メガネ
セブンプラザマツバ
松岡内科医院
沼田皮膚科医院
甲勝建設株式会社
高鍋信用金庫日向支店
土田歯科医院
酒乃宮崎
中村真税理士事務所
児玉テント工業株式会社
喜重会館
吉森内科医院
鮫島整形外科医院
鮫島歯科医院
有限会社板東薬局
あおば鍼灸院
こどもクリニックたしろ
坂本建設株式会社
天領うどん
伊豆鰻

【富高地区】

株式会社辰工務店
株式会社黒高組
株式会社はせがわ本舗
河野青果
魚のさんちゃん
高橋水産
ながおか動物病院
花ヶ丘三股歯科医院
山元小児科医院
古賀内科医院
有限会社靴のタムラ北町店
大平整形外科医院
柳田産婦人科医院
宗建設株式会社
大乃家
上日向自動車株式会社
ハリカ日向店
日向農園合資会社
ホテルベルフォート日向
西村一新堂
京屋
有限会社柳田タクシー
小松産業株式会社
久義接骨鍼灸院
大興不動産 日向
山下歯科院
株式会社内山家具店
九州労働金庫 日向支店
株式会社 コウサ
共立薬品
秋田屋菓子舗
石川銃砲火薬店
田村歯科医院
有限会社日高金物店
ツチヤ電気商会
有限会社沢印刷
お菓子の清香堂
有限会社木村家パン
藤屋印刷株式会社
有限会社吉田文具店
松山印房
歌津鮮魚店
内山ゴム株式会社
富高薬局本店
学校法人富高学園
西日本観光株式会社
日向第一ホテル
株式会社大洋石油
山内歯科医院
中村精肉店

有限会社八千代建設

有限会社竹中製材所
千代田病院
高鍋信用金庫 日知屋支店
大久保外科胃腸科医院
尾池歯科医院
有限会社黒木電気消防
まるみつ日向店
株式会社トミシマ
西原金属株式会社鋼材
住友林業株式会社
日新興業(株)日向営業所
新日本サッシ販売株式会社
黒進
宮前建設株式会社
宮崎液化ガス株式会社日向営業所
稻尾リース株式会社日向営業所
日興貨物運送株式会社
東洋林業株式会社

東胃腸科クリニック

立石耳鼻咽喉科医院
津島整骨院
三輪政弘税理士事務所
粉木商店
Mトラベル
有限会社梶原クレーン
有限会社クリーン日向
明商椎茸有限会社
東村歯科医院
有限会社佐藤測量
福田充司法書士事務所
有限会社マエダ製菓
株式会社本吉
すし源
鈴木精肉店

【平岩地区】

有限会社大和屋ホーム
株式会社古賀産業
シーサイドパーク太平洋
矢野産業株式会社
民宿金ヶ浜
平岩調剤薬局
原田商店
渡辺病院
有限会社司建設

【幸脇地区】

みやこ家
民宿もりした
株式会社あゆのはす
遠見漁業生産組合
幸脇漁業生産組合
幸脇簡易郵便局
船待
江藤商店
民宿磯
交渉社

【美々津地区】

三股病院
日本ホワイトファーム(株)
日本ハム惣菜
株式会社ニシムラ&よしむね
東九州電設工業株式会社
有限会社長友薬品
美々津第2漁業生産組合
黒木石油商事
株式会社甲斐住建
ローソン日向美々津店

【東郷地区】

株式会社ミヤキヨウ
有限会社日向ヤスティング
有限会社前田産業
美々津カントリークラブ美々津
観光開発株式会社
西日本土木株式会社
海野建設株式会社
株式会社三郎建設
テクスウッド宮崎事業協同組合
有限会社日吉だんご
福田製材有限会社
耳川林業事業協同組合
有限会社山陰タクシー
有限会社桑田商店
有限会社高山産業開発
耳川砂利有限会社
味岡リース株式会社東郷営業所
株式会社寺原建設
協同組合東郷ショッピングセンター
株式会社東郷町ふるさと公社
医療法人望山会青柳内科循環器科
有限会社菊池建設
土田歯科クリニック

ほか匿名9社
(順不同・敬称略)



じぶんの町を良くしたいという想い、それはやさしさと思いやりです。
たくさんのやさしさと思いやりをありがとうございました。

赤い羽根共同募金運動 最終実績報告

平成26年度の赤い羽根共同募金運動が終了しました。

今年度も、区長公民館長をはじめ、民生委員児童委員、ボランティア連絡協議会会員などのご協力を得て、市民の皆様、企業・法人の皆様からたくさんの募金をいただくことができました。

平成26年度赤い羽根共同募金実績

区分	募金額(円)	活動内容
戸別募金	2,955,325	区長公民館長連合会の協力により各区各世帯からの募金をいただきました。 (区会計での予算化や封筒による戸別納入をいただきました。)
街頭募金	654,561	十五夜祭や産業合同フェスタ等でボランティアによる募金呼びかけを行い、来場されている皆様よりいただきました。
法人募金	1,591,312	民生委員児童委員にご協力いただき、社協役職員と企業訪問し、市内332社より募金をいただきました。
学校募金	131,918	市内小中学校の児童生徒に組み立て式募金箱を配布し、募金をいただきました。
職域募金	805,407	社会福祉施設の職場において、職員の皆様にクオカード募金でご協力いただきました。
その他	325	(預金利息)
合計	6,138,848	日向市全体で集まった募金

宮崎県全体で使うお金
3,948,000円

日向市全体で使うお金
2,190,848円

「じぶんの町を良くするしくみ」
これが赤い羽根共同募金です。
じぶんが住んでいるこの町が、
少しでも良くなる。

それはたぶん、住んでいる人みんなにとって、
嬉しいことだと思います。

直接、福祉活動ができなくても「募金」という
方法でその活動を手助けすることができます。
共同募金は「じぶんの町を良くしたいという想い
を届ける一つの方法」です。

高齢者の福祉活動に
障がい児者団体の活動援助に
児童福祉の向上に
ボランティア団体の活動費に



まちが良くなると
あなたも少しハッピーに

HAPPY!
「また、喜びょうかな」という気持ちが生まれたら、嬉しいです
じぶんの町を
良くする
しくみ

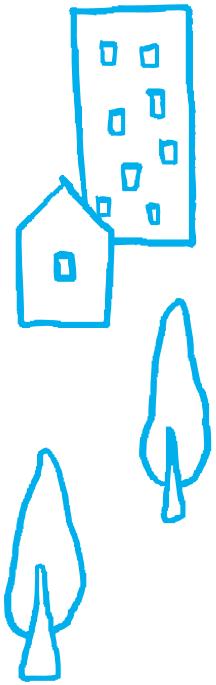


あなたが
募金したお金は

あなたの愛が
ハッピーにかわる

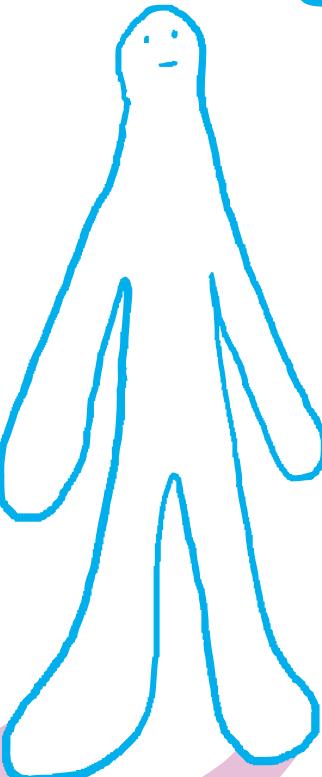
みんなのまちのために
使われます





3月28日(土) 18時～20時
日向市総合福祉センター2F 集会室
(日向市富吉 207-1-3)

震災と防災とわたし



プログラム

1、福島の現状（動画・約20分）

2、パネルディスカッション

パネリスト

坂本美和「南相馬と日向をつなぐ会」代表

福島県南相馬市で生まれ育つ。2011年3月11日被災。
埼玉での避難生活を経て、2012年9月より宮崎県日向市に移住。現在は畑をしながら農産加工品を作るなど半農半X的生活を目指している。日向の恵みと人とが出会う「手作り小高い市」を不定期に開催。

古田ひろみ『うみがめのたまご』～3.11ネットワーク～代表 <http://umitama.info/>

東京生まれ、千葉育ち。3.11を受けて宮崎県綾町へ母子避難。
2011年7月、おなじ境遇の母子避難者らと自助的な支援を目的に団体を設立。被災者の「こころの復興」をゴールに定め、力を注いでいる。

3、グループセッション 各テーブル4人で震災時の行動を仮定して質問。

会場の参加者がYES/NOカードを出し、全員で意見交換。

4、食事・交流タイム 玄米おにぎり、味噌汁、漬物などを食べながらお話ししましょう（参加負担金 1人300円）。

【参加対象】「避難者の話を聞きたい」「防災について考えたい」など開催内容に関心のある日向市民の方、避難や移住当事者などどなたでも

【参加費】 無料 【定員】 50人（託児あり）

参加申し込み・お問い合わせ

メール:askme@umitama.info 電話:080-6679-4899(古田) FAX:020-4624-2714

お申し込みは3月20日(金)までにお願いします。

※氏名、電話番号、参加人数(おとな〇名、こども〇名、託児希望の有無)をお知らせください。
※「会場までの交通手段がない」「しめきりを過ぎたけれど参加したい」など、なんでもお気軽にご相談ください(^^)

主催：南相馬と日向をつなぐ会

後援：日向市社会福祉協議会、宮崎県男女共同参画センター

協力：まめんち母さん

指定管理者として日向市より管理を受託して、事業運営を行っています！

大王谷児童館 電話 50-1117 行事のお知らせ！

3月5日(木) 10:30~11:30

『幼児親子:思い出づくり』

☆お子様の成長を記念して
メッセージカードを作りましょう！

3月14日(土) 13:30~15:30

『小学生:プラバン工作』

☆「プラバン」のおもしろさを体験！
自分だけのアクセサリーを作ってみよう！
※申込締切：3月12日（木）

日知屋児童センター 電話 52-8443 行事のお知らせ！

3月14日(土) 14:00~15:30

『ドッヂビー大会』

☆当たっても痛くない！どこに飛ぶか？？？
ドッヂボールが得意な子も苦手な子もみんな
楽しめるよ！！

* 参加料 無料
対象 小学生



手作りストラックアウト！



1月31日(土)、日知屋児童センターでは一足早く節分の行事「オニをやっつけよう！」を行いました。子どもたちは自分の中に棲んでいる悪い鬼を書き出し、ストラックアウトに貼り付けてボールを投げつけました。ここで使ったストラックアウトはなんと手作り！！以前児童センター行事のボランティアに参加してくれた日向中学校の井上一希くんが木工で手作りし、寄贈してくれたものです。このように児童センター、児童館はさまざまな世代の方との交流の場をもうけることで、住民の方々が地域の子どもたちを気にかけるきっかけをつくり、地域で子どもを見守るまちづくりの一翼を担いたいと考えています。



児童館・児童センターに遊びに来てね！

大王谷児童館、日知屋児童センターは、行事の日でなくても、誰でも（小学生以下のお子さんは保護者同伴）無料で遊ぶことができます！！暇なとき、遊び仲間を探しているとき、遊び場所に迷ったとき、いつでも遊びに来てね！！



待ってるよ～！



黒木美春様より、たくさんの本をいただきました。

日々の活動の中で活用させていただきます。
ありがとうございました！！



福祉賛助会員！拡大中！

地域福祉活動の主役は地域住民です。その住民相互のたすけあいの仕組みである社協会員制度は、この日向市に住む一人ひとりで構成され、主に下記3つの会員で構成されています。

種類	対象	会費
一般会員	地域住民(世帯)	年間500円 (1世帯あたり)
特別賛助会員	個人、団体など	1口1,000円
福祉賛助会員	法人、企業など	1口10,000円

今年度より新たに福祉賛助会員の拡大の活動を行っており、下記の企業・団体が会員になりました。

(有)寿廣本店様
コーソク(株)様
(株)オオタエンジニアリング様
細島港荷役振興(株)様
日向測量設計(株)様
小松産業(株)様
八興自動車整備(株)様
八興運輸(株)様
日向市役所部課長親交会様
日向市役所係長会様

社協では今後も「福祉賛助会員」を募集しています。
詳しくは総務課総務係までお問い合わせください。

お知らせ！

第2回 日向市地域福祉活動企画コンテスト開催

日時：平成27年3月15日（日）9:30～

場所：日向市総合福祉センター2階集会室

地域で地域住民が地域住民をしあわせにするための福祉活動のアイデアや企画について、企画者からのプレゼンテーション（発表・提案）が行われます。興味のある人、きっかけを探している人、お気軽にご参加ください。

観
覧
自
由

【発行者】

社会福祉法人

日向市社会福祉協議会

[日向市ボランティア・市民活動センター]



【日向本所】

〒883-0034 日向市大字富高207-3

日向市総合福祉センター

TEL(0982)52-2572/FAX(0982)52-9562

ホームページアドレス <http://www17.ocn.ne.jp/~hyugasha/>

Eメールアドレス hyuga207@eagle.ocn.ne.jp

【東郷支所】

〒883-0102 日向市東郷町山陰丙1265-2

日向市東郷地区総合福祉センター

TEL(0982)69-2116/FAX(0982)69-2274

この情報誌は市民の皆様からいただいた社協一般会員会費で作られています。

香典返し・一般寄付ありがとうございました。

〈香典返し〉敬称略

平成27年1月分

喪主(または寄付者)	故人	地区
河野しのぶ	河野 賢一郎	本谷
村田末子	村田 光子	遠見
田中次郎喜	田中 チヅ子	坪谷
中川正子	中川 堅一郎	本町
田中清亮	田中 澄子	堀一方
黒木正行	黒木エイ	曾根
坂元ヒサエ	坂元 明	川路
田辺めい子	田辺 正	西草場
高瀬峰夫	高瀬 トキ子	寺迫
山本美紀子	若森 信作	切島山2
石田和世	石田 廣行	寺迫
黒木春美	黒木 トヨコ	秋山
田原八重子	田原 一義	春原
甲斐精一	甲斐 ミサオ	長江
富山久美江	富山 アキエ	坪谷
長平ヤエ子	長平 元五	新財市
治田玲子	治田 真隆	永江
江川洋子	江川 刚	往還
糸平通夫	糸平 曜	福瀬
森岡アサエ	森岡 健二	切島山1
本部三則	本部 ス工	宮ノ上
柏田利男	柏田 トシ子	梶木

〈物品寄贈寄付者〉敬称略

平成27年1月分

氏名	地区	物品
村田末子	遠見	紙おむつ

社協日記

卒業式のシーズンになりました。先日、小学生の子どもたちを対象にした社協主催の福祉学園卒業式がありました。福祉学園は、福祉のことを学んだり、地域を調査したりして、自分たちのできる福祉活動などの学びや実践を行っていくものです。

子ども達は、福祉学園で素直に熱心に福祉活動に取り組み、高齢者等との出会いや触れ合いなどを通じて、生命の尊さや生き方について学びました。そして、それぞれの立場や心情を思いやり、互いに支え合うことの素晴らしさを見つけ出していました。

車の少なかった頃の、小中学校のお別れ遠足と言えば、学校から伊勢ヶ浜やお倉ヶ浜などへ歩いていくのが定番でした。遠足は、普段の学校生活を離れ、自然や文化、現実の社会や歴史に生で触れるという目的と集団で行動し社会性を学ぶということにあります。

福祉教育は、子ども達が現実の社会から学び、福祉のこころに満ちあふれた生活を営めるやさしい社会にする担い手となってもらうことなどにあります。今後も福祉のこころにより自分のことも周りの人も大切にしながら、これを基盤として奉仕・社会・連帯等の精神を高めていってほしいものです。

私は、これから困っている人がいたら優しさや思いやりを大切にして、学んだことをいかしていくと良いです。（福祉を学んだ子ども）

（ひこびー）



この情報誌は再生紙を利用しています。

印刷所 有限会社 第一印刷